

# 八王子市公共施設白書

八王子市  
平成 27 年 10 月

## 持続可能な行財政運営のために

平成27年4月に東京都初の中核市に移行した本市は、豊かな自然環境、都心部から40km圏内という地理的優位性と交通の利便性に恵まれ、大学や先端技術産業が集積する首都圏西部の中核都市として発展を続けています。

昭和30年代に近隣町村と合併を重ね、昭和39年に面積約186km<sup>2</sup>を擁する多摩地域最大の都市となりました。高度経済成長期以降は、急激な人口増加と市街地拡大に伴い、義務教育施設や都市インフラ施設整備を行ってきました。安定成長期に転じてからは多様化する市民ニーズに対応するため、文化・コミュニティ・福祉施設等の充実に努めてまいりました。

これらの施設は、老朽化が進み大規模修繕が必要となるものや更新の時期を迎えるものもあります。少子高齢化が進み、人口減少に転じるこれからは、中長期的な視点に立った公共施設の複合化・統廃合・長寿命化などを図っていく必要があります。

本市では他自治体に先駆けて、平成14年3月に「施設白書」を、平成18年7月に「新たな施設展開～有効利用と効率的運用をめざして～」を公表し、施設管理のあり方を見直しつつ、市民ニーズに合った施設経営の確立に向け取り組んでまいりました。私が市長に就任した平成24年以降においては、平成26年3月に策定した「第8次行財政改革大綱」で施設マネジメントを重点取組事項の一つと位置づけ、将来人口推計を踏まえたさらなる取組に着手することといたしました。

そして、公共施設の現状について、建物を中心に資産情報や利用状況、維持管理コスト、事業運営コスト、職員費、減価償却費を分析した「公共施設白書」と、これを踏まえ今後のあり方を示す「公共施設マネジメント基本方針」をまとめました。

本市は平成29年に市制施行100周年を迎えます。大きな節目を迎えるとするこの時期に、市民の皆様とともに今後の公共施設のあり方について議論を深め、新たな100年に向けたまちづくりを進めていくうえで、本書がその一助となれば幸いです。

平成27年10月

八王子市長

たかゆき  
石森孝志

# 目次

## 第1章 公共施設白書について

1 公共施設白書の目的	1
2 施設管理のこれまでの取組	2
(1) 「施設白書」(平成14年3月策定)	2
(2) 市民ニーズの薄れた施設の廃止とその活用	3
(3) 既存施設を活用した新たな市民ニーズへの対応	3
(4) 「新たな施設展開」(平成18年7月策定)	4
3 本白書で対象とする施設	5
4 本白書と公共施設等総合管理計画との位置付け	6
5 本白書の掲載データについて	7
(1) 施設の分類	7
(2) 物件データ	7
(3) コストデータ及び端数処理	7
(4) 施設コストの内訳	8

## 第2章 八王子市の概要

1 市のプロフィール	9
(1) 市域の変遷	9
(2) 市勢の概況	10
(3) 地域区分	13
2 人口・世帯数の推移	15
(1) 総人口・世帯数と年齢別人口の推移	15
(2) 年齢(3区分)別人口割合の推移	16
(3) 将来の人口推計	16
3 小・中学校数及び児童・生徒数の推移	18
(1) 小学校数の推移	18
(2) 児童数の推移	18
(3) 中学校数の推移	19
(4) 生徒数の推移	19
4 地域ごとの小・中学校数及び児童・生徒数の推移	21
(1) 地域ごとの小・中学校数と児童・生徒数の推移	21
(2) 児童数のピーク時からの減少率	29
(3) 生徒数のピーク時からの減少率	29
(4) 小・中学校の保有教室の状況	30

5 財政状況	31
(1) 財政規模の推移	31
(2) 嶸入決算額の推移	31
(3) 嶌入決算の構成割合	32
(4) 嶌出決算の構成割合	33
(5) 性質別嶌出決算額の推移	33
(6) 市税収入額の推移	34
(7) 市税収入率の推移	35

### 第3章 施設整備の推移と現状

1 施設整備計画	36
2 投資的経費の推移	37
(1) 投資的経費の推移と用地取得費の推移	37
(2) 投資的経費の目的別構成割合	38
3 施設整備の推移	40
(1) 土地・建物の年度末現在高の推移	40
(2) 平成12年度末と平成25年度末の貸借対照表の比較	43
(3) 道路・橋りょう・下水道・公園整備の推移	45
4 施設の現状	47
(1) 延床面積	47
(2) 市民1人当たりの施設延床面積と市債残高	48
(3) 施設の整備状況	50
(4) 地域ごとの施設の配置状況	51
(5) 建築後30年を超える建物の延床面積	52

### 第4章 施設の利用状況・コスト分析

1 施設の利用状況・コスト分析	53
(1) 庁舎	53
(2) 清掃施設	56
(3) 消防・防災施設	58
(4) その他公用施設	63
(5) 学校教育施設	65
(6) 市営住宅	76
(7) 交通公園	78
(8) 文化・生涯学習施設	80
(9) コミュニティ施設	86

(10) スポーツ施設	92
(11) 子育て支援施設	96
(12) 産業振興施設	106
(13) 保健衛生施設	111
(14) 福祉施設	113
(15) 駐車場	118
(16) その他公用施設	123
(17) 貸付財産	125
(18) 普通財産	128

## 第5章 施設コスト・公債費

1 施設類型別コストと修繕費	130
(1) 施設類型別コスト	130
(2) 過去5年間の修繕費の推移	132
2 公債費・市債残高の推移	133
(1) 公債費の推移	133
(2) 市債残高の推移	136

## 第6章 将来負担と課題

1 将來の維持管理コスト	137
(1) 対象施設	138
(2) 算出の方法	146
(3) 用語の定義	148
(4) 中長期修繕コスト	156
(5) 中長期保全計画コスト	157
(6) 中長期保全計画コストに改築コストを加えた試算	158
(7) 市民1人当たり負担額の推計	159
2 本市における公共施設の課題	160
(1) 施設の更新時期	160
(2) 人口減少と年齢構成割合の変化	160
(3) 財政状況	160
(4) 本白書のデータから	161
おわりに	162

## データ編（第4章で使用したデータ）

庁舎	163
----	-----

清掃施設	163
消防・防災施設	163
その他公用施設	165
学校教育施設	165
市営住宅	167
交通公園	167
文化・生涯学習施設	168
コミュニティ施設	168
スポーツ施設	169
子育て支援施設	169
産業振興施設	171
保健衛生施設	172
福祉施設	172
駐車場	172
その他公用施設	174
貸付財産	174
普通財産	174